

いよいよ小学校でも新学年のスタートです。新しい学年で、何かといそがしい時期だとは思いますが、学習のペースを乱さないように気をつけましょう。無理をせずに自分のペースで学習を進めていってください。

今月は先月に引き続いて物語文の学習です。「場面」や「気持ち」のとらえ方を身につけていきましょう。

第7回では物語の場面分けに取りくみます。第8回では、中心となるできごとに着目していきます。第9回では、「できごと」どうしのつながりに着目していきます。第10回では、できごとや行動と気持ちのつながりに着目して考えます。

また「読む」「書く」ツールでは移動の表現、存在・変化の表現や、様子や音を表す表現、もの（こと）をくわしく説明する表現、「に・へ・を」の使い方について学習していきます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業を受講した後で取り組んでください。

「学び直し①」の文章題と「読む」「書く」ツールの問題を中心に、授業で学んだことを確かめて取り組むようにしましょう。問題を解くだけでなく、マル付けとまちがい直しもしっかりとしましょう。

◆第7回 物語 場面分け／移動を表す表現①／様子を表す表現

今回は「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」をおさえたいうえで、場面分けを考えて読んでいくことを学習します。場面分けでは「いつ」「どこで」「だれが」という場面をつくる要素の変化に着目しながら文章を読んでいきましょう。

「読む」「書く」ツールでは、「Aは～を出る」という移動を表す表現と、「もっちり」や「ふんわり」などの様子を表す表現について学習します。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 …… 1～3

「読む」「書く」ツール……下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）…… 1・2

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう……①～④

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第七回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

◆第8回 物語 主なできごと／移動を表す表現②／音を表す表現

物語の学習の三回目です。そろそろ「場面」をつかむことに慣れてきたでしょうか。

今回は中心となるできごとに着目して文章を読み進めていきましょう。また、中心となるできごとの中で「少年」や「父親」がどのような気持ちになっているか考えてみましょう。

「読む」「書く」ツールでは「Aは～を通る。」という移動を表す表現と、「ザクザク」などの音を表す表現について学習します。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 ……表にあわせてできごとをまとめる問題

「読む」「書く」ツール……〈移動〉を表す表現の1・2（上段の問題）

〈音〉を表す表現の1・2（下段の問題）

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）……1・2

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう……①～④

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第八回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

◆第9回 物語 できごとどうしのつながり／移動を表す表現③／もの（こと）をくわしく説明する表現

今回はできごとや行動のつながり（因果関係）に着目します。できごとどうしのつながりや原因と結果の関係に注意して物語を読んでいきましょう。またできごとと気持ちがどのようにつながっているのかもたしかめてみましょう。

「読む」「書く」ツールでは「Aは～に着く。」という移動を表す表現と、「いろんな」などのもの（こと）をくわしく説明する表現について学習します。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 ……場面のうつりかわりを整理する問題

「読む」「書く」ツール……下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）……1・2

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう……①～③

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第九回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

◆第10回 物語 できごとと心情のつながり／存在・変化を表す表現①／に・へ・をの使い方

今回はできごとと気持ちのつながりを学習します。どのようなできごとがもとになって、どのような気持ちになったのかをつかんでいきましょう。

「読む」「書く」ツールでは、「Aが～にいる。」という存在・変化を表す表現と、「に」「へ」「を」などの言葉と言葉をつなぐ働きをもつ言葉の使い方について学習します。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 ……できごとと気持ちのつながりをたしかめる問題

「読む」「書く」ツール……下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の② (文章題) …… 1

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう …… ①～③

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

第1回～第6回の授業で、「数」に関する学習を進めてきました。第7回では。数の種類をひろげて小数の世界を学習していきます。計算の仕組みはしっかりと理解できていますか？ 第8回～第10回は「計算を利用」して、様々な考え方を身につけていきましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第7回 数と計算 小数と計算

小数を使うことで、数の世界が大きく広がりますね。まずは計算の仕組みをおさえましょう。小数のたし算・ひき算では、位をそろえて計算することがポイントです。小数のかけ算では、消しておかないといけない「0」があることも注意ですね。栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③、 知識技術 $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

学び直し③・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・知識技術 $\boxed{5}$

栄冠への道・・・学び直し③ $\boxed{5}$, $\boxed{6}$

ひとりで問題と向きあうための準備 $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

◆第8回 数と計算 百分率

百分率(%)について学習します。全体の大きさを100等分した大きさを1%(パーセント)と表すことで、全体の中での割合がわかります。本格的な学習は5年生で行いますが、今回は「1%あたりの大きさ」を意識しながら取り組みましょう。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④、 知識技術 $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{5}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$

学び直し③・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・知識技術 $\boxed{4}$ 思考技法 $\boxed{2}$

栄冠への道・・・学び直し③ $\boxed{4}$, $\boxed{5}$

ひとりで問題と向きあうための準備 $\boxed{3}$, $\boxed{5}$

◆第9回 数と計算 数のかぞえ方・植木算

学び①で、「以上」「以下」「未満」など数の範囲を表す言葉の使い方を学びます。言葉の用法は正しく覚えることが大切です。

その上で、植木算では、①両はしに木を植えるときは、「木の数=間の数+1」②両はしに木を植えないときは、「木の数=間の数-1」③円や長方形のまわりに木を植えるときは、「木の数=間の数」となります。まとめて覚えることも必要ですが、図をかきながら考えていくという姿勢が大切になります。

植木算は、入試で様々な形に変えて出題されることが多いので、しっかりと身につけてください。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③、 知識技術 1, 3, 4, 5

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1, 3, 4

学び直し③・・・1, 2

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2

栄冠への道・・・学び直し③ 3, 4

ひとりで問題と向きあうための準備 3, 4

◆第10回 数と計算 数の範囲とがい数

第9回で学習した数の範囲を整数に限らずに広げていきます。数は無限の広がりをもっています。そのためにも「以上」「以下」「未満」の意味を正確に理解しましょう。また、およその数にする方法（切り捨て、切り上げ、四捨五入）についても学習します。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③、 知識技術 1, 2, 3, 4

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1, 2, 3

学び直し③・・・2, 3, 4

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 2

栄冠への道・・・学び直し③ 5, 6

ひとりで問題と向きあうための準備 4, 5

小学校でもいよいよ4年生になりますね。気持ちを新たに、力いっぱいふみ出しましょう。4月の理科では「種子と発芽」、「光合成」について学習します。光合成は植物にしかできない不思議な働きです。今月も新しい知識を身につけていきましょう。

◆第4回 種子と発芽

植物の種子のつくりと、発芽の条件について学びましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・種子のつくりを知ろう。
 - ・種子のどの部分が何になるのかを知ろう。
 - ・種子が発芽する条件を知ろう。
 - ・種子が発芽する条件を調べる実験で、比べる条件に目を向けよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」：オプション探究
 - ・「栄冠への道」：学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第5回 栄養分は光でつくる

植物の育ち方と、光の当たり方について学びましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・日なたと日かげでの、植物の葉のつき方や背の高さに目を向けよう。
 - ・植物がでんぷんを作る仕組みを知ろう。
 - ・植物がでんぷんを作る仕組みを調べる実験の、手順・操作と、その理由を学ぼう。
 - ・植物が光合成をするのに必要なものを知ろう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」：オプション探究
 - ・「栄冠への道」：学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第4回 山から流れ出てくる川

「学びのとびら」を読んでおきましょう。その上で web 教室を視聴しましょう。

①では、川のはたらきによってできる地形を確認します。やや難しいですが、5年生で再び学習しますので、4年生では地形の名をしっかりと覚えておいてください。理科でも学習するので覚えておいてください。

②①では、テキストP50の地図を使い、日本の各地域の川を特色とともに覚えましょう。地図シートや地図帳などを使ってみるのもよいでしょう。コラム「流域面積」についてもしっかりと確認してください。②では、利根川と信濃川を例にあげて川の流量の変化の原因を考えます。梅雨や台風といった身近な自然現象と結びつけて考えてください。③では外国の川と比べて日本の川は長さが短く流れが急であることを確認してください。

③では水のじゅんかんのようすを確認してください。

【これもおさえておこう！】

オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

◆第5回 川がつくった平地

「学びのとびら」を読んでおきましょう。その上で web 教室を視聴しましょう。

①では、前回学んだ川のもつ「土砂をけずる、運ぶ、積もらせる」という働きを思い出しましょう。

②では、平野と盆地、台地といった平地の特徴とそれらが位置する場所を確認してください。その際、コラム「0メートル地帯での暮らし」や「平地と産業」も読んでおくと良いでしょう。濃尾平野にある輪中によく入試に出題されます。「輪中地域の断面図」をしっかりとみておきましょう。

平野名、盆地名、台地名は入試では必出ですので、必ず覚えておくようにしてください。

【これもおさえておこう！】

オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)